

原子分子の卒業研究から情報通信の研究分野へ

独立行政法人 通信総合研究所 小峯 隆宏
(1985年物理工学科入学、渡邊研、1989年学士課程修了)

私が松澤・渡邊研究室に所属していたのは、大学4年生の卒業研究に取り組んだわずか1年間という短い期間でした。しかし、この1年間、渡邊先生、小山先生、そして松澤先生の親身なご指導を頂くうちに「研究」というものに非常に興味をもつようになり、将来も「研究」というものを続けていきたいと思うようになりました。そして、大学卒業後、「通信」という分野にも興味を持っていた私は独立行政法人通信総合研究所(旧郵政省電波研究所)[1]に入所し、以来情報通信分野の研究に従事しています。

本日の発表では、私と松澤先生、電気通信大学、通信総合研究所のかかわりについてお話を頂きながら、通信総合研究所や現在の私の研究活動内容について紹介したいと思います。

[1] 独立行政法人通信総合研究所 (Communications Research Laboratory):

通信総合研究所は情報通信分野における唯一の公的な研究機関として、情報・通信・電波・光等の各分野にわたって、基礎から応用まで幅広い研究を行っています。なお、2002年には通信総合研究所と電気通信大学は連携大学院協定を締結しており、共同研究や人材交流を積極的に推進しています。